

<ラオスプロジェクト>

古澤委員

ラオス奉仕活動の決定事項がありますので報告いたします。ぜひご参加いただき、7月末までにお申し込みください。

活動日程 9/19(金)～9/23(火)

現地には歯ブラシ3,000本と励行キャンペーンのA2ポスターを2種約500枚位準備する予定です。

<会計>

柏川会員

前年度第36期の会計報告をいたします。当初予算に余裕がなく大変心配をいたしました。予算に対する決算額の大きな差異もなく予算内で収まることができました。

本日のプログラム

<委員会報告>

■エレクト

鴨志田会長エレクト

今期RI会長は『ロータリーに輝きを』、井上勇会長は『挑戦』とクラブの活性化の推進に向けた素晴らしいテーマを掲げてスタートしました。



そのために必要なのはやはり会員の増強です。

会員増強の玉井委員長、職業分類の大西委員長、会員選考の関山委員長、ロータリー情報の小塚委員長、そして委員の皆様のご協力が必要不可欠です。

当クラブは会員の年齢が30代～80代と幅広く、どの年代も偏ることのないバランスを保っています。この年齢分布を崩さないように、良き友の入会を促進していくようにと考えております。

次年度には会員数45名を目標にし、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

■ロータリー財団

佐藤委員長

～ロータリー財団について～

1917年、アーチC.クランプRI会長が『世界で良いことをするために』基金の設置を提案。この基金が1928年に『ロータリー財団』と名付けられ現在に至っています。



～ロータリーの奉仕の理念～

人々の健康状態を改善し、教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを目指しています。

～交易目的事業の趣旨～

個人が海外留学するためもしくは海外から日本へ留学するための奨学金およびロータリー平和フェロシップの付与。非営利財団法人である国際ロータリーのロータリー財団活動を支援するための寄付金の提供で財団の人的、教育的プログラム一般を支えるための主要な財源となります。

～ポリオ撲滅～

これまで122カ国、20億人以上の子どもたちに予防接種を支援してきました。

今年度も会員皆様から財団へ120ドル ポリオ50ドル ベネファクター2名以上のご協力をお願いいたします。

■米山奨学委員会

玉井委員

米山奨学事業はロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生の優れた学業を支援し、交流を通じてロータリー精神を学び、国際理解



を深め、日本と母国の架け橋となるよう国際親善に尽くす人材の育成を目的としています。

米山記念奨学会の歩みは、1952年日本のロータリークラブの創始者、米山梅吉翁の功績を記念して東京ロータリークラブが日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を立ち上げました。米山記念事業の特徴としては、民間外交としての平和の種をまく、留学生への支援は未来に向かって平和の架け橋をかける奉仕活動です。

米山記念奨学会への寄付

普通寄付 一人当たり 5,000円

特別寄付 一人当たり 20,000円

特別寄付についての表彰

累計 10万円 第1回米山功労者

累計 100万円 第10回メジャードナー

全ての寄付金に税制優遇が受けられます。またこの財源をもとに奨学金プログラムで奨学生に支給されます。

米山記念奨学会のプログラムをご理解いただき、特別寄付について協力お願いいたします。